

令和4年度 第1回瑞穂市総合教育会議 会議録

令和4年5月25日（水）午後13時00分開議

○日 程

開会

1 あいさつ

2 議題 ・教育大綱について
 ・教育振興基本計画について

3 その他

閉会

○出席者

市 長	森 和 之	教 育 長	服 部 照
教育長職務代理者	加 藤 悟	教 育 委 員	森 下 伊三男
教 育 委 員	加木屋 加緒里	教 育 委 員	大 平 高 司

○欠席者

なし

○説明のため出席した者の職・氏名

教育委員会事務局長	佐 藤 雅 人	教育総務課長	井 上 克 彦
学校教育課長	郷 通 芳	幼児教育課長	今 木 浩 靖
生涯学習課長	松 島 孝 明	給食センター課長	松 野 光 広

○職務のため出席した者の職・氏名

総 務 部 長	石 田 博 文	総 務 課 長	野 田 秀 樹
総 務 課 主 事	黒 坂 昌 平		

○傍聴者

0人

開会 午後1時00分

開会の宣告

○野田総務課長 皆さんこんにちは。本日は、大変お忙しいところ、令和4年度第1回瑞穂市総合教育会議に出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会は総務課の野田が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは会議に入る前に皆様方にお諮りをいたします。本会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第6項の規定により、原則公開となっております。現時点で傍聴者のかたは見えませんが、希望者があった場合には認めるということでよろしいでしょうか。

(全員同意)

ありがとうございます。もう1点ですが、「瑞穂市総合教育会議運営要綱」第7条の規定に基づき、議事録には、出席者の氏名等が公表されますので、よろしくお願いいたします。

それでは、はじめに森市長よりごあいさつを申し上げます。

あいさつ

○森市長 改めまして、こんにちは。連日、夏日となっており、非常に暑い中、またお忙しい中、令和4年度第1回総合教育会議にお集まりいただいたことにお礼を申し上げます。

また日ごろは、新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力や、瑞穂市の行政、さらに瑞穂市の子どもたちへの教育にご理解とご協力をいただいておりますことにお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も報告されてから3年目となりました。市民の皆

さまの日常生活、とりわけ子どもたちの日常生活、学校生活も大きく変わったと思います。最近では、マスクの着用を緩和しようという動きもあります。

今年は県とのTV会議などでも、感染防止対策をして、できることを少しずつ増やす取組をしております。教育委員会、小中学校や保育所でも同じように取り組んでまいりますので、皆さまにはよろしく願いを申し上げます。

そして、新型コロナウイルス感染症ですが、年明けからの第6波では、瑞穂市でもたくさんのかたの感染が確認されており、とりわけ10歳代までの感染が3人に1人で、保育所の感染は今回の第6波が最も多くなりました。また、1つの保育所から次の保育所へ移るかのように感染が増えております。

市役所では感染防止対策と、業務が継続できるような体制整備、さらには3回目のワクチン接種を行っています。3回目のワクチン接種については、先週の金曜日の時点で72.5%のかたへの接種が完了しております。現在は、7月から60歳以上のかたと基礎疾患のあるかたを対象とした4回目の接種を開始するために準備を進めております。

次に、3点、瑞穂市の話題をお話したいと思います。

まず1点目は、現在「令和4年度瑞穂市市政方針説明会」を開催しています。説明会を7小学校区単位で開催しており、現在は前半の3校区が終了しました。ご自身がお住いの校区でなくてもご参加いただけます。平日の夜または日曜日にご参加をいただきますようお願いを申し上げます。

この市政方針説明会の中で瑞穂市の地方創生の拠点を3つ挙げています。その1つが4月3日にオープンしたサンコーパレットパークです。6月4日、5日にはみずほピクニックと銘打って、約40のキッチンカーの出店と大道芸人のかたがたにも来ていただき、気軽にピクニック気分を楽しんでいただけるような、芝生広場のオープニングのイベントを開催します。

また、来年の5月には市制20周年を迎えるので、子どものまちづくりへの

参画、いじめ防止条例の制定、そして人権尊重宣言などを進めていきたいと思っております。

2点目は、環境の改善、温暖化対策や水質汚染、大気汚染などの環境への問題に取り組んでおります。

3点目は、平和への取組でございます。今、世界ではウクライナがロシアから武力攻勢を受けています。先週の金曜日に朝日大学の友学長さんからご招待をいただき、元ウクライナ大使の鷺見さんという先生の講義を拝聴して、ウクライナが苦難な歴史を歩んでいると知りました。その講義の際に友学長さんにもご紹介いただきましたが、世界平和や復興支援のために「瑞穂市ひまわりプロジェクト」と題し、サンコーパレットパークの南側の畑にひまわりの種を植えてもらいました。また穂積庁舎の南側、そして県道沿いにも総務部の職員に植えていただきました。今後、保育所や幼稚園、小学校でも進めてまいります。皆さまにおかれましても、ご自宅で一花咲かせていただければと思い配布させていただきました。

瑞穂市では人口が増えております。しかし、これから8年ほどで緩やかに減少に向かってまいります。次の時代を担う子どもたちには、子どもたち一人ひとりに応じた保育、教育を進めることが最適の時代になると思います。子どもたちが瑞穂市に愛着を持って、瑞穂市の教育を受けて、そして自分の夢をかなえられるまちづくりをこれからも進めてまいりますので、よろしくお願いを申し上げます。少し長くなりましたが、私からのあいさつとさせていただきます。改めまして、本日はお集まりいただきましてありがとうございます。

○野田総務課長 ありがとうございました。それでは瑞穂市総合教育会議運営要綱第4条の規定により、これより森市長が議長となって会議を進めていただきたいと思います。

議題 教育大綱について

○森市長 それでは議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。1つ目の議題は、瑞穂市の教育大綱についてです。皆さんも十分ご存じだと思いますが、この教育大綱は、本日ご出席の教育委員の皆さんにご審議いただいて策定したのですが、4月から服部教育長が就任されましたので、改めて私から教育大綱への思いを説明させていただきたいと思います。

みずほの子どもたちには、みずほの教育を受けて成長する中で、生きる力と瑞穂市への愛着を身に着けて、それぞれの夢に向かってほしいという1番の想いがこの教育大綱にはあります。そのためには家庭を中心に学校、地域、そして行政が一体となって、子どもたちの成長を支えていかなければなりません。

幼児教育においては遊びや運動、学びの中からルールや規範意識、基本的な生活習慣を身に付けてもらいたいということ、学校教育においては多くの児童生徒のかたが瑞穂市の学校において質の高い学力を身につけることが期待されております。この期待に応えるためには、教員の育成や学校全体の組織力の強化が必要になると思います。

昨年度から GIGA スクール構想により、1人1台タブレットを導入し、子どもたち一人ひとりの学習の内容などに応じて教育を進めてまいりました。タブレットの導入は個別最適化時代の象徴であり、教育の質の向上、学力の向上につながると思います。

私が考える学力とは、単なるテストの点数だけでなく、社会において自立的に生きるため、そして知識や教養、感性といった人間性をはぐくみ、周囲の人たちとの共感するような力を養うことだと思います。また、自分の育ったふるさと、瑞穂市に愛着を持つことも身に付けてもらいたいと思います。そのためには私たち行政、そして地域のかたがたで子どもたちを見守っていくことも必要になると思います。

そして先ほどごあいさつで少し申し上げましたが、平和、命の大切さを学ぶことも学校教育や幼児教育を充実させたいと思います。また、地方創生の3つの拠点を進めておりますのも、瑞穂市に来ていただいて、少しでも瑞穂市を見ていただいて、そして住んでいただけるように瑞穂市の教育について情報発信をしていかなければならないと思っています。子育てするなら瑞穂市といわれるように考えています。それが人口の減少対策にもつながると考えています。

生涯にわたる学びを育む社会教育においては、まちの歴史を知り、自然に触れ、奉仕を行うことで、まちの良さがわかり、瑞穂市の文化が創られ、このまちへの誇りが生まれます。

私の政策は、健幸都市みずほの実現になりますが、生涯にわたりすこやかで生きがいを持ち、幸せに暮らせるそんなまちづくりをしていくこと、みずほを愛し、みずほを誇りに思い、そして瑞穂市に貢献できる社会人を育成することがこれから必要だと思っております。

これが、私が教育大綱に掲げる想いですが、そのほかにも市制20周年を迎えるにあたり、それを1つの点ではなく、次の世代を担う子どもたちがしっかり受け継いでくれるように、人権尊重の確立や、環境問題の改善、そして平和の維持といったこの3つに関して、今年1年、対応を考えて、計画を立てていくことが私の教育大綱に対する想いと市制20周年へ向けての考えです。

教育委員会で、事務局で何か補足することがあればお聞きしたいと思います。その後、教育委員さんにお聞きし、ご意見があればと思いますが、いかがでしょうか。

意見もないようですので、次の議題に進みます。

議題 教育振興基本計画について

○森市長 では、2つ目の議題である教育振興基本計画について進めてまいります。教育

振興基本計画は教育大綱の理念を基に、教育における様々な施策を展開しながら、成果を上げていくものです。まずは4月よりお世話になっております服部教育長から、およそ2か月経って見えてきた状況や子どもたちのコロナ禍での状況などのお話も聞きたいと思います。また、瑞穂市が目指す教育の方針についてご説明をしていただきたいと思います。

○服部教育長 私からは、この2か月間の学校の現状と、教育振興基本計画で大事にしたいことの2点についてお話させていただきます。

まず、学校の現状ですが、新型コロナウイルスの感染状況は、ゴールデンウィーク明けが増加すると思っておりましたが、想定以下の感染状況になっております。小学校、中学校においては市内10校で、1日に3人、4人の陽性者数にとどまっております。

一方で、保育所では3人ほど感染してクラス閉鎖となったり、集団でPCR検査を行ったりしております。また詳しくはのちほどの定例教育委員会の中で担当からお話をさせていただきます。

2点目の子どもたちの様子については、非常に落ち着いて元気に生活をしているという状況です。先日、学校訪問で生津小学校を訪問させていただきましたが、非常に前向きに学習しており、子どもたちは積極的に学ぶ姿勢をもっていました。手を挙げて自分の考えを発言する姿や、仲間の話を聞く姿がよくできているなど思いました。

本年度、ウィズ・コロナということで、感染症対策を講じながら様々な学校行事を実施しており、ちょうど本日ぐらいから、運動会、体育祭、そして6月中旬以降からは水泳が実施される予定になっています。

今日は、たまたま穂積中学校の体育祭に顔を出してきました。学年ごとに3日間に分けて開催しておりますが、子どもたちが主体的に動いており、自分たちでより良い体育祭を作っていこうという、そんな姿がとても印象的でした。また、

子どもたちを支える先生方の動きも非常に連携が図られていて、子どもたちの主体的な姿を生み出そうという姿が、私には強く感じられました。

次に教育振興基本計画の資料を基にお話をさせていただきますが、教育大綱を受けた基本方針が3つございます。それぞれの方針について少し私の思いを簡単にお話させていただきます。

まず基本方針1の幼児教育の推進です。私は保育所、幼稚園、小学校との情報共有や連携を大事にしたいなと思っております。12年間を通してどのような子どもを育てていくかを、子どもや保護者の立場に立って考えると、一貫した指導が非常に大事になってくると思います。特別支援が必要な子どもたちに対しては個別の支援計画を立てて進めていくわけですが、当然、他の子どもたちも同様に先生方がそれぞれお互いにどんなことを大事にしてやっているかということを理解して進めていくのが大切かなと思います。

基本方針2つ目の学校教育の推進では、喫緊の課題である情報活用能力、いわゆるコミュニケーション能力をつけていきたいと考えております。基本施策で言いますとグローバル化対応教育の推進にあたりますが、今、子どもたちに必要な力をつけていきたいと思っております。また、やり抜く力や人と関わる力、人を思いやる力など豊かな人間性こそ、今、大事ではないかなと思っております。

基本方針の3点目の生涯学習・社会教育の推進ですが、私は地域に愛着を持って、将来のみずほを担う人づくりが何よりも大事かなと考えております。瑞穂市はこれまでも学校、家庭、地域が一体となってスポーツや文化や地域の活動に様々な取組を行っていると感じておりますので、そういった取組を大事にしながら、課題を少しでも改善して、皆さんが瑞穂市に住んでよかったなと思えるような、そんなまちづくりを教育の面から貢献できたらと思っております。簡単ではございますが以上になります。

○森市長 ありがとうございます。それでは今年度具体的にどのような取組をしていくのかということについて、教育委員会の事務局の各課長が来ておりますので、課長の方から説明をお願いします。

○今木幼児教育課長 （資料に基づき、「幼児教育の推進について」の説明）

○郷学校教育課長 （資料に基づき、「学校教育の推進について」の説明）

○井上教育総務課長 （資料に基づき、「学校の施設・設備の整備について」の説明）

○松島生涯学習課長 （資料に基づき、「社会教育の推進について」の説明）

○松野給食センター課長 （資料に基づき、「学校給食について」の説明）

○佐藤教育委員会事務局長 （資料に基づき、「スポーツ実施率の向上について」の説明）

○森市長 ありがとうございます。今、教育長さん、そして、事務局の各課長、そして事務局長から説明がありましたが、委員の皆様でご意見やご質問がありましたらお願いしたいと思います。では、順番に加木屋委員さんからよろしくお願いします。

○加木屋委員 教育大綱もきめ細やかに考えられていて、特に子どもたちの将来、生きる力をいかにつけていくかというところまで考えてつくられていることが、本当にありがたい話だなと思って聴いておりました。

さらに各課での取組を聴かせていただきましたが、こちらも目標値に向かって少しずつ丁寧に進行していると感じました。

生涯学習課長の説明の中でもありましたが、様々な取組をしていく中で、形骸化、ただやっただけにならないよう、今後、特に注意していただきたいなと思いました。

そして、多くの市民が、少しでも参加できるような取組をぜひどんどん取り入れていていただきたいなと深く思いました。

この教育大綱は、本当に質の高い教育を目指しているということも感じましたが、その一方で、教育の現場は各家庭環境が支えているものだと強く思っていますので、その家庭環境を整えるという意味でも、各部署の連携をぜひともお願い

したいと改めて思いました。

○森市長 ありがとうございます。形骸化しないようにとご指摘いただきましたが、1つの事業を行った後、成果が出て初めてこの事業をやってよかったと感じられたと思いますので、おっしゃることはよくわかります。

では、続きまして大平委員お願いします。

○大平委員 加木屋委員がおっしゃった通り、いろんな方面で細かに事業をやっていただき、そして目標値をもって少しずつ成果を上げていただけるということがよくわかりました。

ただ一番心配しているのは、人員の面で、例えば最初の幼児教育の説明でも、なかなか人員が補充できないということがありましたし、学校教育に関しても小学校へ行って様子を見ると、教科の専門化が小学校で始まっており、なかなか人員が足りないと感じます。

英語の教育では、ALTを1人増やしていただいてありがたいなと思っていますが、ほかの先生方にもいい英語教育、新しい英語教育をやってもらうには、人員の余裕が必要になりますので、人手不足については非常に心配をしています。以上でございます。

○森市長 ありがとうございます。人の補充や人材育成は大切だと思います。

続いて加藤委員お願いします。

○加藤委員 年間を通して細やかな計画を立てていて感心することばかりです。達成目標も書いていただけていますが、すべての事業について目標を立てて進めていく、どういう姿を目指していくかを明確に持って進めることが大切だと考えます。

もう1点は、幼児教育についてですが、正規の職員が84名で会計年度の職員が107名という数値を紹介いただきましたが、長く勤めていただいて、その経験を活かしながら幼児教育を充実させていかなければいけないと思います。しかし、何とか人を確保しようと、非常に苦労されていると思いますが、なかなか結

果として出てこない。どこに問題があるのかを考えてみると、ひょっとすると手当の問題や、あるいは働き方の問題など、突き詰めていくといろいろと出てくるのかなと思います。どの市町も人が欲しいですから、きっと周辺で取り合いをしているのかなと勝手に思っていますが、何とか人を確保していただきたいと思います。

あわせて、小中学校の教員のかたですけれども、非常に多忙化している中、働き方改革と言われていますので、学校で勤務する時間を短くしても、家庭へ仕事を持ち帰らないといけない、あるいは土日に出ていって仕事をやらないといけないようです。この問題も、やはり人員だと思います。担任の先生を補助する人が各学校に複数いると、担任の先生が子どもにじっくり向き合って指導できる、あるいは担任の先生がしっかり教材研究をして授業ができる体制が取れると思いますが、非常に難しい課題だと思います。しかし、これを解決していかないと、立派な計画を立てていただいても、それに向けて実践がされないのではないかと心配をしております。以上です。

○森市長 ありがとうございます。人の確保という視点でお話いただきました。皆さまもご存じかと思いますが、国から1人1月当たり9千円の交付金をいただき、保育士の処遇改善を行いました。処遇改善をしたのが、瑞穂市と関市、そして、大野町の2市1町のみでした。教育委員会の幼児教育課や、総務部でもいろいろ考えて、交付金をうまく反映できるようにしました。関係者の話では、瑞穂市の保育士は周辺の市町に比べて注目されているとのことで、少しずつ変わってきていると聞いています。しかし、瑞穂市の保育所は激務で勤務がなかなか厳しいといわれており、まだまだ人が集まりにくい状況にありますので、働き方改革を進めなければならないと思っております。次に森下委員お願いします。

○森下委員 昨年、教育委員会の先生方がご苦勞されてやっと立ち上がったサンコーパレットパークですが、これからが正念場だと思います。みずほピクニックも開催さ

れますが、今後どのようにサンコーパレットパークを活かしていくかという、先のことをじっくり考えていかなければいけないと思いました。

また、小学校にタブレットが導入されましたが、導入をするにあたって充電をどうするかなど、細かいことでいろいろご苦労されてやっと導入に至ったと思います。今後は、タブレットや電子黒板の修繕、故障への対応が、バタバタと出てくると思います。機械ですからおそらく壊れてくる、あるいは使い方を間違えて壊してしまうなどのトラブルが起きると思うので、継続して使用するためのサポートをしっかりとしていかなければいけないと思います。そういった意味で正念場だと思いました。

先日、新聞に出ていたと思いますが、パソコンを使うＩＣＴ教育によりサポート体制を充実させ、先生方へのバックアップに活用されているという記事を拝見しました。こういった、サポートも大事だと思いました。以上です。

○森市長 ありがとうございます。サンコーパレットパークは、瑞穂市で初めてネーミングライツにより企業に愛称を付けていただきましたが、市民の皆さまに名前が定着しているのは本当にうれしく思います。

また、森下委員がおっしゃられたように活用の仕方、市民にどのように還元するのか。５億２千万円という多額の費用をかけておりますので、これからの活用の仕方が課題になると思います。今年１年かけて進めていきたいと思っております。

私の方から２つほどお話しさせていただきます。中小学校の大規模改修と穂積中学校のグラウンドの整備については、入札が終わっており、６月の議会で議決を得て、夏休みには確実に工事に入るという状況となっています。

また、生涯学習課の説明にありました子どもの読書活動ですが、昨年度は２千円の図書カードを送ることができました。しかし、４月２８日に臨時議会がありましたが、子どもたちにビブリオバトルをしていただいているため、なんとか図

書カードを贈りたいとは思っておりますが、保育所、小中学校への感染症対策を優先したことにより難しい状況です。

もう1つは、市役所内部で検討している原油価格・物価高騰への対策ということで国から交付金内定がありました。この交付金の活用も6月議会に議案提出できるように検討しております。

それでは時間もそろそろ来ておりますので、教育長から教育委員のみなさんのご意見に対して、今後の対応についてよろしくお願いいたします。

○服部教育長 いろいろご意見いただきましてありがとうございます。きめ細かなところを定めてやっておられるということをお願いいただきましたが、きちっと目標が達成できるということが大事だと思いますので、引き続きがんばってまいります。

ご意見をいただいた中で2つお話しさせていただきます。1つは他部署との連携というお話をいただきましたが、多くの事業は教育委員会だけで完結するものではないので、今後も他部署との連携を図っていきたいと思います。

もう1点は、教員の働き方改革をより進めていかなければいけないなと思っております。毎月時間外勤務の時間を集計しておりますけれども、私としては本当に正しい時間外勤務の時間なのかということも考えつつ、教育委員会としてどのような方法で先生方を補助できるか、どうしたらそれができるかということを模索していきたいと思っております。皆さま、貴重なご意見どうもありがとうございました。

○森市長 ありがとうございました。では、今、服部教育長から話がありましたが、全体を通して何かご意見がございましたらお聞きしたいと思います。加藤委員よろしいですか。

○加藤委員 生涯学習課の関係と思いますが、ふるさとみずほの良さを発見し、大綱では地域の歴史文化、自然に誇りを持ち、地域への愛着を持つということでしたが、ふるさとみずほの良さを発見するために、だれがどう取り組むかが私自身十分読

み切れていません。ただ、これは市民みんなが発見していかないといけないと思います。そのためには何か取り組まないと市民の意識は向かないと思います。

小学校では、「良さみつけ」ということで1日の生活の中でこんな子がかんばったよ、こんな子がすごかったねという話をすることがあります。また3年生か4年生の地域の学習で「まち自慢」ということで、歴史を学ぶということをやっています。では、市民全体ではどうなっているでしょうか。

例えば、ある市ではふるさとの良さを映した写真を公募すると、美しい、素晴らしい、あるいはこんなきれいな景色があるのか、こんな素晴らしい施設があるのかなど、多くの気づきがあったそうです。なかなか気づかないところでも市民一人ひとりの視点で見ると、いろんな素晴らしい気づきがあると思います。こういった市民の意識を瑞穂市に向ける活動を考えていかないといけないと思います。以上です。

○森市長 ありがとうございます。今おっしゃられた写真の公募は、気軽に応募できていいと思います。また、このような事業も進めていきたいということ思っております。

他はよろしかったでしょうか。

ありがとうございます。

これからも市の教育のさらなる推進に努めていきたいということを思っております。本日の議題は以上となります。次回は、今年度の後半に実施をしたいと思っております。今日、各課長より説明のあった事業がどのような成果となって現れてきているのかということをこの会議の中で示していきたいと思っております。

今年一年、小学校、中学校の子どもたちを通じて、また皆さま方にはお世話になりますが、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

それでは最後になりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第7項の規定により、私が議事録を作成させていただきますが、内容は私に

一任をしていただくということによろしいですか。

(全員同意)

ありがとうございます。

会議の円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。それでは事務局へお返しをしたいと思います。

閉会の宣告

○野田総務課長 ありがとうございました。本当に本日は熱心にご審議をいただき誠にありがとうございました。これをもちまして総合教育会議を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

閉会 午後2時20分